



濁水について 高知取水・協定書 内容を問う



野村議員

問 昨年11月よりポンプ打ちこみ直しが高岡地区23件以上あり不安。「高知取水取り過ぎではないか」等相談あり。当時の議会議事録によると平成6年議会で「仁淀川高知取水に係る協力が土佐市3億円のみ。この町は総額16・7億円、毎年浄化資金として7千5百万円と悠久に続く。その差は歴然」と市長に質問。これは政治力の違いか。平成9年からの町八十地の仁淀川河床10m日量6万トンの伏流水を集水埋渠方式により、日量最大12万トンを取り水する記録もある。12万トンの算出根拠は何か。他の条件も鑑み、議事録を見ながら怒りを感じ

じる。平成5年5月23日締結の協定書内容と現在の取水状況を問う。
板原市長
協定書第1条では、取水地点、取水方法を規定。第2条では、濁水時の対応規定。土佐市が旧来から受けてきた受益を損なわない措置として、仁淀川濁水調整協議会の決定に基づき対応する。取水状況は、1日当たり4.1万m³、5.9万m³間で推移。問 この度の濁水についての考えを問う。集水埋渠方式による取水施設は寿命もあり、メンテ・耐震対策が必要と思う。協定書第4条では被害に対する処理、第5条では疑義に関する協議とある。課題があれば高知市、近隣

市町村との協議が必要と思うが、市長の見解を問う。
板原市長
今年の濁水は降雨量が少なかったため、濁水調整協議会で必要があれば協議していく。
問 市長は、濁水調整協議会の場で土佐市民、命の水を守る気概を持った主張を求める。
**仁淀川右岸
堤防強化
について**
問 愚直に質問続行も答弁は大丈夫という答弁ばかり。近年線状降水帯による豪雨災害が多発、河川堤防の破堤による甚大な被害発生。土堤



で作られた堤防は洪水や地震に耐えられるのか。仁淀川重要水防箇所巡視に参加し、以前の資料になり旧川跡が5あると明らかにした。既に宇治川排水ポンプ12トン、来年は日下川新規放水路から毎秒76トン放水されるが、市長の見解を問う。
板原市長
旧川跡は、地盤からの漏水が発生しやすい。堤防強化を望む声あり、堤防の更なる強化など河川の早期整備について国に要望していく。

**★答申を受けて
市としての基本的な考えを問う。**
**小中学校統廃
合について**



その他の質問
**★ドラゴンバス
について**
★朝倉駅まで運行を
★デマンドタクシー導入を